

課題別指針「市民参加」
2017年3月版の主な改訂点

1. 事業目的（2本柱）から戦略目標（3本柱）としての整理

地方創生の推進に向けた施策等を踏まえ、開発途上国での活動を通じて培われた経験や知見を日本国内の地域社会における取り組みに活かすべく、以下のとおり戦略目標（旧：事業目的）を整理しました。

- 2008年版：① 国際協力への支持の拡大
② 開発への貢献
- 2017年版：① 多様なアプローチによる開発への貢献
② 日本の地域社会への還元
③ 国際協力への理解・参加促進

2. アクター別アプローチの整理

これまで以上に、アクターごとの特性や強みを踏まえた戦略的アプローチを取るべく、主なアクターごころに「JICAとして目指す連携の方向性」を整理しました。

以上